

平成 28 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ミライト・ホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 鈴木 正俊
(コード番号：1417 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経営戦略部長 小暮 啓史
(TEL 03-6807-3119)

Lantrovision(S)Ltd の株式取得（完全子会社化）に向けた 買収手続開始の合意に関するお知らせ

当社の子会社であるMirait Singapore Pte. Ltd. は、本日下記の通り、シンガポールを中心にLAN配線等の設計・施工・保守等を行うLantrovision(S)Ltd（以下「Lantrovision社」）と、同社の発行済株式100%を取得（以下「本件株式取得」）することにより完全子会社化する手続を開始することについて合意し、本件株式取得の実行に関するScheme Implementation Agreement（以下「本契約」）を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件株式取得の背景・目的

当社グループは、半世紀以上にわたる情報通信インフラの構築技術をベースに「総合エンジニアリング&サービス会社」を目指し、ICTソリューション事業、環境・社会イノベーション事業における事業領域を拡大するとともに、グローバル事業の拡大も推進しております。

他方で、Lantrovision社は、LAN配線等の設計・施工・保守・コンサルティング及び機器販売におけるアジア最大手のシンガポール上場企業であり、シンガポールをはじめマレーシア・中国などアジア13か国・地域での営業拠点と多国籍企業等の優良な顧客基盤を持ち、安定した業績と健全な財務基盤を有しております。

これらの点を踏まえ、本件株式取得により、当社グループのグローバル事業は、海外の拠点網や顧客ベースの拡充等により、以下のとおり成長に向けた新たなステージに入ることができると考えております。

- ① 当社グループは、現在アジア・パシフィック地域4か国において、主に通信事業者の設備構築を行っていますが、Lantrovision社の完全子会社化により、新たに13か国・地域で28都市に及ぶグローバルな拠点を加え事業展開を図ることが可能になります。
- ② 当社グループの主要顧客は通信事業者が中心ですが、Lantrovision社は、金融業やデータセンター関連業、製造業など幅広い業界の顧客をカバーしており、更にこれらの顧客は優良多国籍企業を中心であることから、顧客ポートフォリオの多様化とグローバル化が図られ顧客基盤が格段に充実することになります。

- ③ Lantrovision 社の多国展開を支えている人材やプラットフォーム及びマネジメントシステムを活用することにより、当社グループの今後の成長を支えるグローバルな事業基盤を強化することが可能になります。

以上のことから、当社は本件株式取得により、グローバルな事業展開力の強化と企業価値の向上が図れるものと判断し、今回の決定に至りました。

2. 異動する子会社（Lantrovision社）の概要

| | | | |
|--|---|--|-----------------|
| (1) 名称 | Lantrovision(S)Ltd | | |
| (2) 所在地 | 8 Ayer Rajah Crescent Singapore 139939 | | |
| (3) 代表者の 役職・氏名 | Executive Chairman LUM CHUE TAT Managing Director CHAN THYE YUAN, RCDD | | |
| (4) 事業内容 | LAN配線等の設計・施工・保守・コンサルティング及び機器販売 | | |
| (5) 資本金 | 約59百万シンガポールドル | | |
| (6) 設立年月日 | 1992年6月27日 | | |
| (7) 大株主及び 持株比率 (2015年12月 31日現在) | ANG EE TIONG, KENNETH 6,234,636株(11.56%) CHAN THYE YUAN 5,530,296株(10.25%) LUM CHUE TAT 5,003,796株(9.28%) YEOW JIEW YEOW 4,470,400株(8.29%) | | |
| (8) 上場会社と当 該会社との間 の関係 | 資本関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき関係はありません。 | |
| | 人的関係 | 同上 | |
| | 取引関係 | 同上 | |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（百万シンガポールドル） | | | |
| 決算期 | 2013年6月期 | 2014年6月期 | 2015年6月期 |
| 連結純資産 | 108 (約91億円) | 117 (約99億円) | 120 (約102億円) |
| 連結総資産 | 132 (約112億円) | 149 (約126億円) | 154 (約131億円) |
| 連結売上高 | 133 (約113億円) | 151 (約128億円) | 155 (約131億円) |
| 連結営業利益 | 12 (約10億円) | 17 (約15億円) | 14 (約12億円) |
| 連結当期純利益 | 10 (約8億円) | 15 (約12億円) | 11 (約9億円) |

3. 株式を取得する子会社（Mirait Singapore Pte.Ltd.）の概要

| | | |
|-------------------|---|--|
| (1) 名称 | Mirait Singapore Pte.Ltd. | |
| (2) 所在地 | 19 Keppel Road, #09-04 Jit Poh Building, Singapore 089058 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | マネージング ディレクター 小暮 啓史 | |
| (4) 事業内容 | 通信設備工事会社の経営管理 | |
| (5) 資本金 | 20万シンガポールドル（約17百万円） | |
| (6) 設立年月日 | 2015年11月12日 | |
| (7) 大株主及び持株比率 | 株式会社ミライト・ホールディングス 100% | |
| (8) 上場会社と当該会社との関係 | 資本関係 | 当社が当該会社の株式の100%を保有しております。 |
| | 人的関係 | 当社の取締役1名、執行役員1名、従業員1名が当該会社のディレクターを兼務しています。 |
| | 取引関係 | 当社と当該会社との間には、特筆すべき関係はありません。 |

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

| | |
|---------------------------|---------------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株（所有割合：0.0%） |
| (2) 取得株式数 | 53,948,356株 |
| (3) 取得価額 （アドバイザー費用等含む） | 合計 約180百万シンガポールドル（約153億円） |
| (4) 異動後の所有株式数 | 53,948,356株（所有割合100.0%） |

※取得価額は、市場価格及びデュー・デリジェンスを通じて、Lantrovision社及びその子会社関連会社の資産内容、事業内容等について総合的に検討を重ね、今回の買付価格が公正かつ妥当なものとした。

5. 株式取得方法及び手続き

本件株式取得は、シンガポール法及び買収合併コードに基づくスキーム・オブ・アレンジメント（Scheme of Arrangement、以下「SOA」）により実施される予定です。SOAとは、シンガポール法上の株式取得手続きであり、Lantrovision社の賛同の下、同社の株主総会の承認及びシンガポールの裁判所の許可を取得することにより、本件株式取得が成立する友好的な株式取得方法です。

SOA成立のためには、Lantrovision社の株主総会決議において、本人又はその代理人が出席し投票を行ったLantrovision社の株主の過半数が承認し、かつ、当該承認を行った株主の保有する議決権が株主総会に出席し投票を行った株主の保有する議決権の75%以上の決議を取得することに加え、裁判所からの許可の取得が必要となります。

上記承認等が得られない場合には、本件株式取得が実現しない可能性があります。

6. 日程

| | |
|-------------------------|------------|
| (1) 本契約締結日 | 平成28年1月27日 |
| (2) Lantrovision社株主総会期日 | 未定 |
| (3) シンガポールの裁判所の許可取得日 | 未定 |
| (4) 株式取得日 | 未定 |

7. 今後の見通し

本件株式取得のクロージングは、Lantrovision社の株主総会の承認及びシンガポールの裁判所の許可を得ることを前提としているため、これらの承認等の取得後、Lantrovision社の株式取得が完了する予定です。本件株式取得が当社の業績、財政状態に与える影響につきましては、今後、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

以上

※本資料ではシンガポールドル・日本円の為替レートを1シンガポールドル 85.00 円で換算しています

<責任の表明>

シンガポール買収合併コードに従って、Mirait Singapore Pte. Ltd. の取締役（本プレスリリースに関する詳細な監督を委任された取締役も含まれます）は、本プレスリリースに記載された事実及び表明された意見が公正で正しく、重要な事実が省略されていないことを確認するためにあらゆる合理的な注意を払いましたので、取締役は連帯してそれに従った責任を負います。ただし、公表された情報源または公に手に入る情報源にもとづいて引用された情報または作成された情報及びLantrovision社から取得した情報については、Mirait Singapore Pte. Ltd. の取締役の責任は、合理的な質問を通じて、かかる情報が正確に誤りなくかかる情報源から引用され、適切に本プレスリリースに反映または作成されている点に限定されます。



Lantrovision 社について

1. Lantrovision 社の概要(2015年12月31日現在)

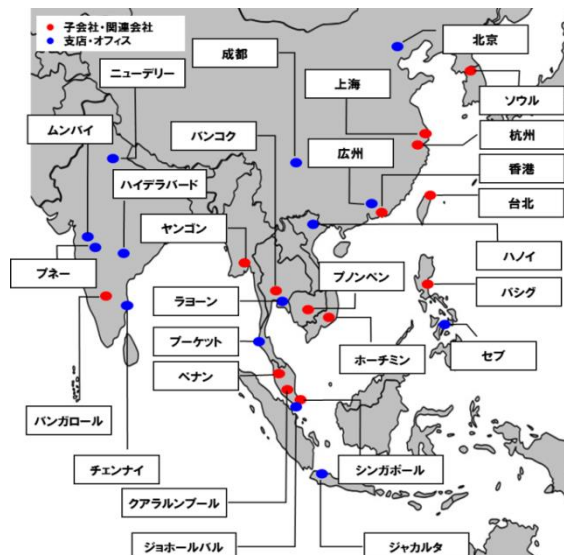
- (1) 社名: Lantrovision(S)Ltd
- (2) 沿革: 1992年 設立
2001年 シンガポール証券取引所(SGX) SESDAQ(Stock Exchange of Singapore Dealing and Automated Quotation)上場
2008年 SGX メインボード上場に移動
- (3) 本社所在: 8 Ayer Rajah Crescent Singapore 139939
- (4) 売上高: 156 百万シンガポールドル(約 132 億円)/2015 年 6 月期
- (5) 連結従業員数: 約 1,000 名
- (6) 子会社等: アジア各国に子会社13社、関連会社6社
- (7) 事業の特色:
 - LAN 配線等の設計・施工・保守・コンサルティング及び機器販売
 - RCDD(The Registered Communication Distribution Designer) (注) 資格者を 7 名保有
 - 金融機関、データセンタ保有企業等が主要顧客



(注) BICSI(Building Industry Consulting Service International)による配線関連技術の資格

2. アジアにおける拠点 —13 か国・地域 28 都市での事業展開—

シンガポール、マレーシア、中国、香港、インド、フィリピン、台湾、韓国、タイ、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、インドネシア



3. 多国籍顧客の概要

- Lantrovision 社は、幅広い業種の顧客基盤を有しておりますが、その特色として、フォーチュン・グローバル 500 にランクされる多国籍企業やグローバルトップ銀行 100 にランクされる銀行等を主要な顧客としております。

4. 業績・財務状況の特徴

- (1) 安定した業績・・・着実な売上高の拡大と安定的な営業利益率の確保
- (2) 健全な財務基盤・・・高い自己資本比率と現金比率(実質無借金)
- (3) 連結業績データ

① 業績推移

(単位:百万シンガポールドル)

| | 2011年6月期 | 2012年6月期 | 2013年6月期 | 2014年6月期 | 2015年6月期 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 128 | 132 | 133 | 151 | 155 |
| 営業利益 | 11 | 11 | 12 | 17 | 14 |
| 営業利益率 | 9.1% | 8.6% | 9.1% | 11.8% | 9.2% |
| 当期純利益 | 10 | 9 | 10 | 15 | 11 |
| 当期純利益率 | 8.4% | 7.1% | 7.7% | 10.0% | 7.4% |

② 財政状態(2015年6月30日現在)

(単位:百万シンガポールドル)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|-----|-----------|-------|
| 流動資産 | 148 | 流動負債 | 33 |
| 現預金・短期投資 | 87 | リース債務 | 0 |
| 売上債権 | 33 | 仕入債務 | 19 |
| 仕掛工事 | 16 | 未払金 | 8 |
| 棚卸資産 | 8 | その他 | 5 |
| その他 | 2 | 固定負債 | 0 |
| 固定資産 | 6 | その他 | 0 |
| 土地・建物・設備ほか | 5 | 負債合計 | 34 |
| その他 | 0 | 純資産合計 | 120 |
| | | (うち、自己資本) | (113) |
| 資産合計 | 154 | 負債・純資産合計 | 154 |

以上